

# “三陸で夏イチゴを作ろう” in 田野畑

主催：岩手大学三陸復興推進機構

後援：なつあかり研究会（青森）、岩手なつあかり研究会

青森から宮城に至る三陸沿岸は、リアス地形のために広い農地が少なく、しかも津波で貴重な表土が流されました。さらに震災で担い手の流出が加速し、農業の再建が難しくなっています。一方、三陸には、夏は北海道よりも涼しく、冬は関東内陸並みに暖かいという気候の特長があります。岩手大学三陸復興推進機構では、この気候を生かした園芸振興を目指して、夏の暑さを嫌う作物の生産普及に取り組んできました。今回は、夏から秋にかけて収穫する夏イチゴに焦点を当てて、その栽培や販売の方法、課題を議論します。これから夏イチゴを始めてみたいという方の参加を歓迎します。

準備の都合、参加希望者は氏名、所属、連絡先（住所、メール、電話）を記して、10月17日（金）までに下記宛ご一報ください。参加費は無料です。

岩手大学農学部

メールの方は、岡田益己 [mok@iwate-u.ac.jp](mailto:mok@iwate-u.ac.jp)

FAXの方は、松嶋卯月 019-621-6183

日時：平成26年10月22日（水）13：00～16：00

場所：アズビィ楽習センター（田野畑村教育委員会）

岩手県下閉伊郡田野畑村和野278-1

プログラム（予定）

- 1) 岩手大学の三陸復興活動の紹介：松嶋卯月（岩手大学）
- 2) 夏イチゴへの期待と流通の課題：伊東良久（GLO-berry Japan）
- 3) 夏にイチゴを収穫する方法：濱野 恵（東北農業研究センター）
- 4) 青森県における夏イチゴの生産：伊藤篤史（青森県産業技術センター）
- 5) 初心者でも取り組める夏イチゴ用高設栽培：岡田益己（岩手大学）
- 6) 初めて夏イチゴにチャレンジ（その1）：田原浩志（雫石町生産者）
- 7) 初めて夏イチゴにチャレンジ（その2）：鈴木隆昭（田野畑村生産者）

会終了後に、鈴木さんのハウスを見学します。